

【鳳凰】Phoenix
金襴手鳳凰文宝珠香合 永樂保全作



【罌粟】Poppy
花鳥動物図「枇杷寿帯」 沈南蘋筆



【鶴】Crane
海辺群鶴図屏風 三井高福筆



【鷄】Rooster
花鳥動物図「柳下雄鷄」 沈南蘋筆



2025
7.1火 9.7日

開館時間：10:00～17:00（入館は16:30まで）

休館日：月曜日（但し7月21日、8月11日は開館）

入館料：一般 1,200(1,000) 円／大学・高校生 700(600) 円／中学生以下無料

※70歳以上の方は1,000円（要証明）。※20名様以上の団体の方は（ ）内割引料金となります。※リピーター割引：会期中一般券、学生券の半券のご提示で、2回目以降は（ ）内割引料金となります。※障害者手帳をご呈示いただいた方、およびその介護者1名は無料です（ミライロIDも可）。

主 催：三井記念美術館



三井記念美術館
Mitsui Memorial Museum

花と鳥

美術の遊びとところ IX

花と鳥

美術の遊びとところ IX

日本・東洋の古美術に親しむことを目的として企画している、恒例の美術の遊びとところシリーズ。第9弾のテーマは「花」と「鳥」です。今回は館蔵の絵画・茶道具・工芸品に登場する花と鳥をじっくりと観察していただきます。

四季折々に咲き誇る美しい花、さまざまな姿で魅せる鳥など、美術の中の花と鳥が織りなす多彩な表現や奥深い美の世界をお楽しみください。



国宝
志野茶碗 銘卯花壇
桃山時代



重要文化財
玳皮盞 鸞天目
南宋時代



重要文化財
室町時代
日月松鶴図屏風(右隻)



菊時經平素
江戸時代



鳥類写真図巻
江戸時代
渡辺始興筆(部分)



鶉図
江戸時代
土佐光起筆

次回展覧会のご案内

開館20周年特別展

円山応挙 —革新者から巨匠へ

2025. 9.26(金)～11.24(月・振休)

近年、同時代を生きた伊藤若冲、曾我蕭白ら“奇想の画家”たちの人気に押され気味の円山応挙。しかしじつは、応挙こそが、18世紀京都画壇の革新者でした。写生に基づく応挙の絵は、当時の鑑賞者にとって、それまで見たこともないヴァーチャル・リアリティのように、眼前に迫ってきたのです。その画風は瞬間に京都画壇を席卷、多くの弟子が応挙を慕い、巨匠として円山四条派を形成しました。本展では、応挙が「革新者」から「巨匠」になっていくさまを、重要な作品を通してご覧いただきます。

[交通のご案内]

- ・東京メトロ銀座線「三越前」駅A7出口徒歩1分
- ・東京メトロ半蔵門線「三越前」駅徒歩3分
A7出口徒歩1分
- ・東京メトロ銀座線・東西線「日本橋」駅
B9出口徒歩4分
- ・都営浅草線「日本橋」駅徒歩6分 B9出口
徒歩4分
- ・JR「東京」駅(日本橋口)徒歩7分、
「神田」駅徒歩6分
- ・JR総武快速線「新日本橋」駅徒歩4分
- ・メトロリンク日本橋(無料巡回バス)
乗降所「三井記念美術館」徒歩1分

三井記念美術館入口(三井本館7階)
日本橋三井タワー1階アトリウムから入り、左奥の階段を上って三井本館の専用エレベーターをご利用ください。



※当館には専用の駐車場はございません。公共交通機関等をご利用ください。

- 展覧会関連イベントについては、当館ホームページをご覧ください。
- 開催内容を変更する場合がありますので、最新の情報は、当館ホームページまたはハローダイヤルにてご確認ください。
- また、展示室内の混雑を避けるため入場制限を行う場合があります。



三井記念美術館
Mitsui Memorial Museum

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-1-1 三井本館7階
050-5541-8600(ハローダイヤル)
<https://www.mitsui-museum.jp>

